

令和7年度 第67回 石川県特別支援教育研究協議会 河北大会

開催要項 (第一次案内)

1 大会主題

教育的ニーズに基づいた 一人一人の育ちを求めて

2 趣 旨

障害のある児童生徒の自立と社会参加に向けて、文部科学省においてはインクルーシブ教育システムの充実を目指し、様々な制度改革を行いながら特別支援教育を進展させる取組を行っています。変化する社会の中で、児童生徒が自分らしさを生かし、未来を切り拓いていくための資質・能力を育むことが今求められています。その際、特別な支援を要する児童生徒の多様化等を踏まえ、幼稚園・小・中・高等学校、特別支援学校の教育課程の連続性、合理的配慮の提供、ICTの利活用、関係機関との連携強化による切れ目ない支援体制の整備等の課題があります。

このような状況から、一人一人の教育的ニーズを的確に捉え、最適な指導・支援がすべての学校で実施できるよう、県内各地から研究を持ち寄り、研究協議や情報交換をとおして特別支援教育に係る教員の専門性向上の場となることを目指します。

3 開催期日 令和7年10月15日(水)

4 主 催 石川県特別支援教育研究会

5 共 催 石川県教育委員会、かほく市教育委員会、津幡町教育委員会、
(予定) 内灘町教育委員会

6 後 援 石川県小中学校教育研究会、河北郡市小中学校教育研究会
(予定) 石川県手をつなぐ育成会

7 日 程

13:00	13:30	15:30	15:40	16:40
受 付	全体会・記念講演	移 動	分科会	

8 会 場

(1) 全体会・記念講演会・分科会

津幡町文化会館 シグナス

河北郡津幡町北中条3丁目1番地

TEL 076-288-8527

9 全体会

- (1) 開 会 挨 拶 石川県特別支援教育研究会会長
 (2) 祝 辞 石川県教育委員会 津幡町教育委員会
 (3) 来 賓 紹 介 河北大会実行委員会副実行委員長
 (4) 指 導 講 話 石川県教育委員会
 (5) 次年度開催地挨拶 加賀市
 (6) 閉 会 挨 拶 河北大会実行委員会実行委員長

10 記念講演

演題：「自分らしく生きることを支える特別支援教育
 ～学校現場で働くASD当事者からのメッセージ～」

講師： 綿貫 愛子 氏 (NPO法人東京都自閉症協会)

11 部会及び分科会

(1) 運営方法

- ・ 提案レポート 各分科会 1本
- ・ 進行の順番 提案 10分・協議 20分 助言・講評 10分 情報交換 10分

(2) 部会・分科会

部会・分科会		テーマ	キーワード
知的障害教育	A 教科 (小学校・小学部)	・豊かに生きる力を育む教科指導	障害特性、教科の見方・考え方、主体的・対話的で深い学び、教材教具
	B 教科 (中学校・中学部、高等部)	・豊かに生きる力を育む教科指導	障害特性、教科の見方・考え方、主体的・対話的で深い学び、教材教具
C 自閉症・情緒障害教育		・特性を生かした、指導支援の工夫	障害特性、教科指導、自立活動、個別の指導計画、ICT活用、進学
D 通級による指導		・一人一人の教育的ニーズに寄り添う支援の工夫	自立活動、個別の指導計画、実態把握、発達障害、合理的配慮、在籍級連携
共通	E 交流及び共同学習	・共生社会に生きる力を育む交流及び共同学習	交流学級との連携、校種間の交流、居住地校交流、インクルーシブ教育
	F 特別支援教育支援体制	・地域、学校間における連携や支援体制のあり方 ・校内における支援体制のあり方	校内支援委員会体制、基礎的環境整備・合理的配慮、切れ目ない支援

12 大会参加費 なし

<問い合わせ先>

○河北大会実行委員会事務局

津幡町立笠野小学校 TEL 076-288-8651 FAX 076-288-8652
 大会委員長 校長 武内 直子

○石川県特別支援教育研究会事務局

石川県立明和特別支援学校 TEL 076-246-1133 FAX 076-294-2879
 Email kentoku@isk.ed.jp

事務局長 長田 一也